

分野連携企画報告書

行事（企画）名：M&M2023材料力学カンファレンス, M&P2023機械材料・材料加工技術講演会 コロケーション開催

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/mmdconf23/index.html>,
<https://jsmempd.com/conference/mpdconf/2023/>

1.開催日・会場

2023年9月27日（水）～29日（金）筑波大学 筑波キャンパス

3.企画内容

- MMD、MPDの2023年度部門講演会を同日・同会場で開催
- 相互の講演会を自由に行き来できる仕組み導入
- 下記の施策で部門を超えた研究交流・人材交流の機会を創出
 - 【合同セッション】両部門の親和性が高いテーマ6件を合同OSとして企画
 - 【合同フォーラム】産業界からの参加促進を狙い“規格・基準”、“グリーンエネルギー”に関する2件を企画
 - 【特別講演】両部門で関心があるテーマを1件ずつ選出し相互参加可能
 - 【懇親会】大規模会場での合同開催による会員交流の場

4.連携の成果

- 講演件数、参加登録者は両部門ともに至近5年で最高水準を達成。（MMD：講演件数378件、参加登録者537人）
- 参加者アンケートの結果、満足度は4.4点（5点満点）と極めて好評。
- 幅広い研究成果の聴講や他分野の研究者・技術者との交流の場として有益であったと、参加者から満足を得た。
- 合同OS、合同フォーラムでは両部門から多くの聴講者があり活発な質疑がなされた。
- 懇親会は160名を超える参加があり産学会員の交流、情報交換の場として大変な盛況であった。

2.企画部門

材料力学部門（MMD）
機械材料・材料加工部門（MPD）

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

【工夫した点】

➢ 単独講演会よりも参加者が増加（今回参加者730名超）するため、両部門連携による準備・講演全体マネジメントを目的に合同実行委員会設立。

➢ 各部門にも実行委員会を設置したが、代表者が相互に参加することで情報を横通しし、検討漏れや準備漏れ等を防止。

【課題点、アドバイス】

➢ 参加者増を考慮した会場選定、両部門スケジュールを考慮した日程調整が課題。

➢ 講演数が増えるため必然的にパラレルセッションも増加。コロケーション開催のメリットを発揮できるプログラム編成が必要。

➢ 朝、夕の混雑緩和対策。移動手段（今回はバス）の確保、OSによっては講演開始・終了の大幅な時間差等。

➢ ハイブリッド開催への要望も根強く、インフラ整備も含めた対応が課題。

➢ 参加費、懇親会費、広告費など統一化する必要あり、部門間で差がある場合には調整が必要。収入配分や予算執行については、両部門に事務局も交えた綿密な擦り合わせが肝要。